

CEFR-J レベル

Pre-A1

技能

Spoken Interaction

Can Do descriptor

基本的な語句を使って、「助けて！」や「～が欲しい」などの自分の要求を伝えることができる。また、必要があれば、欲しいものを指さしながら自分の意思を伝えることができる。

⇒ 基本的な語句を使って、「助けて！」や「～が欲しい」などの自分の要求を伝えることができる。

タスク：

内容：困ったときに助けを求める。

形態：先生との面接形式とする。

手順

① 指示：「このカードを読んでください。読み終わったら顔を上げてください。」

② カード：

あなたは、日本語が通じない外国で家族と旅行しています。旅行中に、家族と離れてしまい、困ってしまいました。そのときに声をかけてくれた人に、カードに書いてある「言いたいこと」を英語で言ってください。

言いたいこと：

- ① 助けて！
- ② おなかがすいた
- ③ 食べものがほしい
- ④ ありがとう

カードを読み終わったら顔を上げてください。

③ 会話開始。ストップウォッチで1分測る。

④ カードの状況を英語に訳し始めた生徒には、指示カード上の「言いたいことを英語で言ってください」を指さして気づかせる。

⑤ 生徒が黙ってしまった時には、直前に言ったのと同じ言葉をゆっくり繰り返したり、それを言い換えたりして発話を引き出そうとしてみる。それを1回試みて発話が出ないときには次に行く。

⑥ 理解を妨げるような誤った発話の時には、意味を確認する。それ以外の時には話を合わせて次に行く。

⑦ 時間前に終えてもよい。話の途中でも、1分後に会話をストップする。そこまでの発話で評価する。

(アウトプット) テキスト 1：この CEFR-J レベルで合格の会話

教員: Hello.

生徒: Help me! (Can you help me?) (1 個目 OK)

教員: OK. I'll help you.

生徒: I am hungry. (2 個目 OK)

教員: That's too bad.

生徒: I want food. (3 個目 OK)

教員: Let me see. Here you are. Here is some bread for you.

生徒: Thank you. (4 個目 OK)

教員: You are welcome. Thank you. This is the end of the task.

(止まることなくこの会話ができているならば、評点 3)

(アウトプット) テキスト 2: 途中で沈黙など問題がある場合

教員: Hello. May I help you?

生徒: Help! (1 個目 OK)

教員: OK. I'll help you.

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: I'll help you. (ゆっくり繰り返す)

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: Number 3?

生徒: Fire.

教員: Fire? (意味の確認)

生徒: No, no, food. (2 個目 OK)

教員: Let me see. Here you are. Here is some bread for you.

生徒: Thank you. (3 個目 OK)

教員: You are welcome. Thank you. This is the end of the task.

(この場合、①③④の 3 つが言えているため、評点 2)

開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) 第 2 期 (実施) **第 2 期 (分析)**

メモ

注意点: 生徒がどこまで話せるかを知るために、教員は手助けをしすぎないようにする。

評価の目安:

・ Pre-A1 なので、単語レベルで評点 2

例) Help! Hungry. Food!

・ 文をサラリと作れたら評点 3

開発担当者: 小泉利恵